

①研究課題名	早産児における左房容積および動脈管開存症評価
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
③概要	2016年に当院で行った「早産児における左房容積および動脈管開存症評価（PLASE 研究：Patent ductus arteriosus and Left Atrial Size Evaluation study in preterm infants：早産児における左房容積および動脈管開存症評価）」（主任研究者:臼田東平）に参加された方を対象に、3歳時点までの発育発達などの予後データを用いて、新生児期のデータとの関連について研究します。
④申請番号	
⑤研究の目的・意義	早産児における動脈管開存症の臨床所見・検査所見（心臓超音波検査・X線検査・血液検査）とそれらの出生後時間経過と、その後の動脈管に対する内科的・外科的治療の必要性や、児の予後との相関を調べ、適切な動脈管開存症の管理法を明らかにすることを目的としています。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から2022年3月31日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	2016年に本院で行われたPLASE研究に参加された方について、新生児期データ登録は終了しています。今回は、3歳時点までの予後データを、新たにPLASE研究本部（神奈川県立こども医療センター新生児科豊島勝昭）に提供し、新生児期データとの関連などについて、研究を進める予定です。使用するデータは、個人が特定されないように匿名化を行い、研究に使用します。神奈川県立こども医療センターを中心とした共同研究として行いますので、情報は研究参加機関で共有します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	3歳時点までの、発育、発達、合併症、発達検査の結果などの予後データを利用します
⑨利用の範囲	新潟大学医歯学総合病院 総合周産期母子医療センター 小児科 金子孝之 神奈川県立こども医療センター 新生児科 豊島勝昭 埼玉医科大学総合医療センター小児循環器部門 増谷聡
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学医歯学総合病院 総合周産期母子医療センター 小児科 金子孝之
⑪お問い合わせ先	所属：新潟大学医学部小児科 医局 氏名：金子 孝之 Tel：025-227-2222